

いつもなら囲碁界のイベントの様子などをお伝えするこのコーナーですが、ちよつと箸休め。今回から数回ほど、囲碁ってなに?という基本的な話も織り交ぜながら、

石・布 定石

66
日本棋院県本部から

囲碁ファンでなくても分かるように、世界・日本・青森県の囲碁事情や普及状況などをお伝えします。
囲碁の起源は、4千年くらい前の中国と言われています。ただ、インド

世界囲碁界の現状

やチベット発祥説もあり、はつきりとは分かっていません。

囲碁にまつわる伝説は数多く存在しますが、古代中国の皇帝が囲碁を創って子供のしつけのために教えたという話や、碁盤を宇宙、碁石を星の代わりにして暦や占いに使

は「英才」とは程遠い状態ですが。

さて、その囲碁が日本に伝わったのはいつか。これもはつきりとは分かっていませんが、西暦600年代の中国の書物に「日本人が囲碁を好む」という記述があるため、少なくとも日本伝来は1

に参上して家康と対局していますが、後に家康の命を受けて日海は寺を弟に譲って隠居し、「本因坊算砂」と名乗って「名人碁所」に任せられました。1612年、幕府は本因坊算砂らに俸禄を与えますが、これが「プロ棋士」の誕生と言われて

400年以上前というこゝたという話も残っています。

古くから中国では「琴棋書画」を子供に習わせ

織田信長、豊臣秀吉、徳川家康はみんな囲碁が好きで、日蓮宗僧侶の日海(1559~1623年)はこの3氏に囲碁を

その後も長い歴史を重ねた囲碁は、1988年から世界大会が行われるようになり、実は1990年代中ごろまで日本が

育の一つに囲碁の勉強があったのですね。まあ、その割に囲碁を覚えた私

家康が征夷大將軍になったとき、日海がお祝い

るから韓国が独走状態になり、現在は中国と韓国

中・韓がトップ争い

が常にトップ争いを繰り広げ、日本は3~4番手という状況です。

ちなみに、囲碁はアジアが中心ですが、アメリカ

カやヨーロッパにも広がりを見せ、現在は世界で74カ国・地域で4千万人以上が囲碁を打つといわれています。



競技人口の減少・高齢化が叫ばれて久しいですが、それとともに世界のトップを明け渡した囲碁。次回は、二兎を得る「妙手」としての日本囲碁界の取り組みをお伝えします。

筆者が弘前市で開く囲碁入門クラス。お年寄りから子どもまで参加している

(県最強位 古川元)